科目番号	50001	分類	共通科目	履修者	看護科学コース (看護教育・研究者プログラム)	学年
科目名	医療倫理特論 （Bioethics in Medical care）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期

担当者	○ 手島　恵	区分	必修	単位	1	時間数	15

授業の概要および目標	学位授与の方針と関連	
【概　要】 医療をとりまく倫理の問題について、日本の現状を捉えながら、法的規範と倫理的規範にもとづく看護職の倫理について理解を深める。また高度な実践の展開においてケアリング、アドボカシー、責務遂行および研究実施などの倫理の原則の考え方を構築して臨めるようにする。患者やその家族の意思決定支援を行うためには職種を超えて具体的に検討する必要がある。その方法としてのチーム医療や多職種連携の在り方について事例等を通し検討する。 【目　標】 1．看護に関する制度や理論を学び、専門職についての考えを明確にする。 2．看護専門職としての倫理の原則を自らの経験から振り返り、遵守の必要性を確認 する。 3．看護専門職としての意思決定のための判断基準を明確にするための方法や患者および家族への意思決定支援の方法を学ぶ。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
	○	4. 実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授業計画

回	内容	担当教員
第1回	〈医療倫理の理論/ケアの質保証の理論〉 ガイダンス、医療をとりまく倫理の問題、専門職と倫理	手島
第2回	医療倫理の基本とアウトカム評価の理論と方法	
第3回	医療行為と看護行為における倫理的意思決定およびアウトカム評価	
第4回	倫理の概念と理論および事例検討について	
第5回	事例検討…各グループで、提示された２事例から1つを選択し読み込む。 所定のワークシートに必要事項を落とし込む	
第6回	倫理的決定の実際① グループごとに検討	
第7回 第8回	倫理的決定の実際② プレゼンテーションと討議	

事前･事後学習	事前学習： 看護協会の看護倫理の自己学習テキスト（基礎知識編）を通読する 事後学習： 学習内容を振り返り、自身の仕事等への活用について検討する。
評価の方法	参加状況（プレゼンテーション・討論・資料　50%）、課題レポート50% フィードバックはプレゼンテーション時の総評とする。
参考図書･資料等	適宜紹介する。 日本看護協会出版会「これからの倫理と看護」手島恵 臨床倫理の営みを広げ、活性化するため臨床倫理ネットワーク| 臨床倫理ネットワーク日本 Official Web Site (clinicalethics.ne.jp)、日本老年医学会「ACPに関する提言」2019 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。